豪雨による災害対策で

足寄町議会

臨時才四回の足寄町議会は五月二十七日午前十時にひらき、会期を一日として小林町長から十七日から十八日にかけて九八ミリの豪雨によつて

▲住居浸水　一九棟

▲農作物被害　六三㌶七五

▲農地被害　三四㌶一四

▲土木施設被害　一〇五本

二億二、四五七万一千円

などについて状況報告があり、これに対して緊急対策として農用地災害復旧費一千百七十九万円を計上して昭和二、稲牛三、ラワン二、上ラワン一、美里別三、鳥取一、ラワン高台二、下塩幌一の十五カ所、二〇㌶の春耕に間に合せることにし、この補助率は八五%四九、補助残の起債が七〇%、分担金が一、五%となつており復旧の方法は機動力により一〇㌃あたり六万五千円以内で、残りの農地被害は七月の才二次査定をうけて秋まきに備えることになり、道路、橋梁の災害復旧費は六百五十二万円を計上して

△ラワン～上足寄線管きよ

△中央横断道路

△下塩幌～上利別線管きよ

△中稲牛線

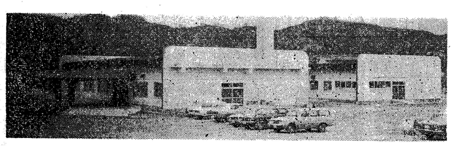
△鳥取線側溝

△鳥取線管きよ

△上足寄～風達線管きよ

の復旧をはかるほか、市街西区佐野川河岸の災害復旧に百六十万円を計上した補正予算を議決して、〇時四十分に閉会しました。

特養老人ホームの開所式



十勝広域圏のなかで位置ずけられ、池北三町では本別町には養護老人ホーム、足寄町には特別養護老人ホームということですすめられてきた、寝たきり老人のための足寄ホームの開所式は二日午前十時から新築なつた市街はずれ美盛地区の同ホーム管理舎ホールに、昨日入所したばかりの老人三十名を中心に職員、来賓などがあつまつておこなわれ富田助役の司会によつて小林町長のあいさつ、大滝議長と三宅社会福祉協議会長からお祝いのことばがあり杉本施設長から職員の紹介がありました。

このホームは鉄筋コンクリート平家建一、二八六平方㍍で、内部施設とも二千七百万円をかけ、収容定員は五十五名で六十五才以上のからだが不自由で常時介護を必要とする老人が対象で、あと二カ月ほどで定員に達するそうです

老人の居室は六人部屋で全室スチーム暖房、カラーテレビつきで、各自は自動ベットでラジオ、扇風機、呼び出しスイッチがついており、歩行車や車イスが備えつけられ、常時二名の看護婦と十二名の寮母がつききりで、一般浴室のほか寝たきりのまま入浴できる特別浴室もあり、機能回復訓練室もあります。

ホームへおむつを

町では老人のお世話に必要なおむつの奉仕運動を社会福祉協議会や農協婦人部や商工会婦人部などを通じて一般に呼びかけていますが、なるべくもめん地で長さは一三〇センチ、巾三五センチのおむつの提供を望んでいます。

社協の総会

足寄町社会福祉協議会の本年度総会は五月二十八日に老人いこいの家に役員、評議員など三十余名があつまつてひらき、三宅会長、小林町長からあいさつがあつて、前年度事業報告、決算を承認、本年度事業計画と予算を決定したあと役員改選の結果

△会長　三宅隆義

△副会長　神本三家雄　大塚正夫

△常務理事　富田助役　松平民生課長

△理事　武藤吉次　香川博彦　長田栄　阿部俊夫　山岡孝雄　木村春三　品川サワイ　谷口二郎　加藤つま　両角章

△監事　松山明　森哲道

の各氏に決まりました。

ことしの事業のなかで

一、心配ごと相談所を「しあわせ相談所」に改めて役場内に一室を設ける

二、老人クラブ三百名のウトロ旅行への援助

三、老人クラブへ巡回映画サービス

四、老人いちご園の造成

五、楽しい老人のつどいの開催

六、交通遺児、父子家庭の温泉慰安旅行

七、はたらく少年勤続表彰者の温泉招待

八、へき地園児の動物園招待（ことしはラワン）

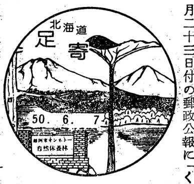
九、不用品回収バザーの開催

などがあげられていますが、特に六月から開所の特別養護老人ホームへオムツをおくる運動をおこすことになりました。

なお、これまで社会福祉協議会に寄せられる善意の金品を、会では社会福祉基金特別会計を設けて処理していましたが、これを一般にわかり易い「愛情銀行」に改めることにし、会の組織を強化し活動を活発にするために社会福祉法人化について調査、研究をすすめることになりました。

足寄局に観光名所スタンプ

足寄郵便局では七日の雌阿寒岳の山びらきを期して町の観光名所PRと郵便切手の増収の一石二鳥の効果をねらつて、雌阿寒岳、阿寒富士、オンネトー、自然休養林にワワンぶきを配した風景入り日付スタンプを使用するにとになりました



これは山びらきの当日は現地でも披露しますが、十円以上の郵便切手をはれば押印してくれるので、五月二十三日付の郵政公報に告示されていらい、すでに全国の切手スタンプマニアから同局へ七日付の初スタンプの注文が数多くよせられています。

当選無効は棄却

小林町長ら

足寄町選挙管理委員会（鷲岡俊昭委員長）では四日の委員会で、水野源次郎氏（中央四区）から出されていた学歴記載に異議があるとして小林町長と花田議員の当選無効の申し立を審理した結果、小林町長に関しては当選の効力に関係がないとして棄却、花田議員に関しては後援会の文書なので公職選挙法には関係がないとして却下しました。

小林町長の場合は選挙公報に帯広中学校卒と記載したのは、当時の戦時特例で四年修了で卒業と同等の資格と扱いをうけたので、字数制限の公報のなかでくわしく説明できなかつたとしています。

すぐつく電話

三町の割当増

本別、足寄電報電話局管内の新規加入電話は、昨年の八百八十台に対して本年は一千五百七十台と大きく割当が上まわり、これまでの加入申し込み積滞は一掃されるばかりか、秋以降になれば申し込めばすぐ取りつけられる便利な状態になりそうで、逆に割当がそつくり消化できるどうかが心配されるといわれます。

局別の増設予定は

△本別局　五一六台

△足寄局　六九〇台

△陸別局　三〇〇台

△芽登局　三〇台

△仙美里局　二三台

△大誉地局　一一台

のほか赤電話四個、ボックス公衆電話三個となつています。

読者の室

（投書歓迎）

陸別町商工会の総会に思う

もともと陸別はあまり急激な変化を好まない。住民の心さえゆり動かすほど過疎は深刻になつているとき陸別の最高の知恵と実力者の総会に期待して出席したのですが、全く失望してしまつた。

確かに指導者の建設的魅力ある曲を演奏するタクト（指揮棒）をふる能力が欠除していることは事実ですが、それにもまして会員の対話の断絶した精神サバク的な三無主義（無気力、無関心、無責任）に起因すると思う。

それで選挙時期には保守だ革新だ、知事がどうの町議がどうのとハシカ熱が発病したかのような運動がおこなわれるが、こういつた大所、高所の政治運動も必要であろうが、それによつて陸別の過疎が救われるとは思われない。

それは現在陸別の自治体のなかでの一人々々の住民が親の代からこの店を支えてきてくれた町民が、過疎によつて大都市に亡命すら困難な町民をどう救済してゆくかという愛町精神によつて再建の可能性が見出されていく。

ゆき詰つた問題を社会的責任にする免罪主義がやがてわが店の墓穴を掘る結果となるであろう。

（カネラン民芸社　鈴木勲）

土木工事の入札

足寄町では五日に土木工事の請負入札をおこなつた結果はつぎのとおりでした

▲雌阿寒～オンネトー間六号橋補修　一四〇万円

▲同　一号橋補修　一四〇万円

▲同　十号橋補修　一〇八万円　協栄建設

▲ラワン～上足寄線管きよ　五一万円　大雄産業

▲中央横断道路　一四五万円　中川組

▲下塩幌～上利別線管きよ　四六万円　清水組

▲中稲牛線　九〇万円　相沢組

▲鳥取線側溝　一三〇万円　中川組

▲同　管きよ　五〇万円

▲上足寄～風達線管きよ　六〇万円　井添組

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
(久)久保呉服店
足寄町　T二一四八

商工会館の建設へ

足寄商工会（新沼芳雄会長、会員三九一名）では五月二十八日の通常総代会に商工会館の建設について提案して同意を得たので、近く理事会で建設委員を選考して具体的な建設計画をねつたうえで臨時総代会にかけて本年中に完成を期しています。

現在の駅前の会館は狭く老朽化したので新築移転のはこびとなつたもので、場所としては駅通りの麻生商店跡を予定しており、国道に面した角地帯には帯広信用金庫支店が移転新築となるのでその南側地つづき百五十六坪を買収して一部二階建で百坪の会館を建てようとしています。

この建設資金については道費補助六百万円、町費補助六百五十万円を予定し、会員の負担は一千万円を見込んでいます。

なお、現在の会館は観光案内所や郷土物産展示所などに活用の案も出ています

長岡一代
春の野菜苗
夏キャベツ
トマト
なす
なんばん
ピーマン
抜き立ての苗は
武藤野菜店
足寄町　T二七二二
足寄町農協の購売
店舗でも販売いた
しております

足寄にはじめて釣具専門店
釣道具　釣餌　釣着
などいつさい取揃えております
山井釣具店
足寄町大通り　T三二七五

明るい
スナック
シャンプル
足寄町南一区　T二〇二三

不動産につい
ての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代辨まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T二三四五

新鋭機
一五〇キロ高速ホイルバランサー
レッカー車　フレーム修正機
RM　アクリル　調色機
導入！
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
足寄町　T二五七八　夜間専用　三七一九

家具　建材　アルミサッシ
既製家具から注文建具
住宅産業に奉仕する！
有限会社　桜井家具建具店
足寄町北五区　T二三六二　工場西五区

技術に生きる！
世界の ビクター
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
ーあらゆる電気器具ー
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T 2642

初夏の衣料が店内いつぱい
桜の花にさきがけて入荷しておりますので
御来店下さい。
足高白セーラー別注文承つております。
ゆかたのシーズンを目前に近日中に展示会
をひらきますので御期待下さい。
株式会社
前田呉服店
足寄町駅前商店街　T二〇二三